

3.3.11 横須賀無線通信研究センター

中期計画期間全体

目 標

横須賀無線通信研究センター (YRC) は、産学官連携による新たな研究戦略により、地上系の移動通信を中心とした無線通信システム技術に関して、我が国、アジアそして世界の中核的研究拠点を目指した研究開発を行う。研究内容、将来の研究テーマは YRP 研究開発推進協会での活動を通じて、国内外の研究機関と密接に連携し、研究計画立案の段階から多くの機関が参加する共同推進型の大型プロジェクトとして遂行している。

目標を達成するための内容と方法

次の三つの基本理念の下に研究開発を進める。

- (1) 無線通信の国際的研究開発拠点を目指す YRP での中核的役割を担う。
- (2) 国際標準になり得るようなユーザ指向の戦略的研究開発を国際的な視点から行う。
- (3) 欧米との協調と競争のため、アジア太平洋地域の研究開発拠点、人材育成拠点を目指し、特にアジア諸国との連携を進める。

特 徴

- (1) 新世代モバイル研究開発プロジェクト：平成 14 年度開始。産学官連携の研究体制、産学からなるサポートメンバー会議やコンソーシアムの組織化、テストベッド構築、中国を中心としたアジア地域との連携が特徴。ミリ波利用促進プロジェクト及び ITS プロジェクトを含み、これらのプロジェクトでは共同研究、標準化に取り組んでいる。
- (2) UWB 結集型特別グループ：平成 14 年度開始。国内外非常勤研究者を結集。ミリ波及びマイクロ波でそれぞれに産学官連携のコンソーシアムを組織化。IEEE、ITU-R 等の標準化活動を重視。
- (3) シンガポール無線通信ラボラトリー：シンガポールサイエンスパーク内に開設。ITS、新世代モバイル関連の研究を現地の研究機関と連携しながら実施。アジア太平洋地域の研究連携拠点を構築。
- (4) 成層圏プラットフォームプロジェクト：未利用空間成層圏を利用する新しい通信・放送インフラの構築を目指す国家プロジェクト。平成 16 年秋には高度 4km 定点滞空試験においてデジタル放送実験及び光通信の捕捉追尾実験に成功。
- (5) 通信システム EMC グループ：国際的な標準化活動に貢献。UWB 測定技術を担当。

今年度の計画及び報告

今年度の計画

横須賀無線通信研究センターとしての活動

- (1) 国際会議の主催：ICB3G@ 東京、周波数資源 @ 東京、WPMC@ イタリア、ITS 国際会議 @ 名古屋、TSMMW@ 横須賀、AP-NeGeMo@ 東南アジア等
- (2) YRP 研究開発推進協会への協力：YRP テストネット、産学官交流シンポジウム、海外リサーチパークとの交流、APT 技術研修、日中移動体通信技術フォーラム、YRP センター長研究情報交流会、企画会及び幹事会の開催ほか、様々な活動への支援・協力
- (3) 総務省との連携、国内機関との連携、海外研究機関との連携、標準化活動の強化
- (4) 広報活動、見学等対応
- (5) 中国、欧州、米国等との研究連携強化

今年度の成果

- (1) 国際会議等主催：5/18-21 UWBST&IWUWBS@ 京都、5/26-27ICB3G@ 高輪プリンスホテル、6/4 周波数資源開発シンポジウム @ 明治記念館、7/8-9 ITST@ シンガポール、9/12-15WPMC@ イタリア Abano Terme、10/18-24ITS 国際会議 @ 名古屋 (10/15@YRP)、12/14NICT-MMU Workshop@ マレーシア、1/25-28AP-NeGeMo@ タイ、マレーシア、ベトナム
- (2) YRP 研究開発推進協会への協力：YRP テストネットフォーラム、7/7-8 産学官交流シンポジウム、海外リサーチパークとの交流 (視察、人材交流)、APT 技術研修 (講師等として)、日中移動体通信技術フォーラム、YRP センター長研究情報交流会、企画会及び幹事会の開催ほか、様々な活動への支援・協力
- (3) 総務省との連携 (各種審議会への参加及び貢献)、国内機関との連携 (大学及び企業との共同研究等実施)、海外研究機関との連携 (共同研究覚書の締結、人材交流、ワークショップ開催)、標準化活動の強化 (IEEE、ITU-R、ISO 等標準化会合への参加)
- (4) 広報活動、見学等対応：12 月現在 50 件以上の見学対応。ワイヤレスジャパンをはじめ各種展示会へ出展し、情報発信に努めた。
- (5) 中国、欧州、米国等との研究連携強化：アジア地域では中国、韓国をはじめとするワークショップの開催及び研究者交流を進めてきた。欧州諸国とはワークショップの開催、研究者交流 (英国からの研究者の滞在、デンマーク及び英国への研究者派遣) を進めた。米国では成層圏関連及び新世代関連で研究機関と研究協力を行っている。